

☆ きんひが通信

令和元年8月30日

<第18号>

校長 平塚智康

平和集会 ～ 戦争や原爆の怖さや悲惨さについて考える ～

8月6日に平和集会を行いました。日本は世界で唯一の核被爆国であり、8月6日や9日に、戦争や核兵器について、考える機会を持つことは、とても大切なことだと思っています。

【平和集会の内容】

- 1 全校で「平和の子ら」を歌う
- 2 校長によるプレゼン（広島平和祈念式典、平和公園、原爆資料館、折り鶴の少女の話など）
- 3 戦争や平和に関する本の紹介（図書委員会、企画委員会）
- 4 朗読劇「さだ子と千羽鶴」（お話どんどんのみなさん）
- 5 教室で感想を書く

明治、大正、昭和と、日本も世界の国々も、大きな戦争をくり返してきました。しかし、平成の時代、日本は戦争をしませんでした。持続可能な社会の創造が世界的に論議される今日、戦争を回避し、平和を維持することこそ、人類にとって最も優先される課題であると思います。昨今、日韓情勢を含め、世界中で不穏な外交問題が頻発しています。これからの予測困難な時代を生きていく子どもたちには、戦争や核兵器がいかに悲惨でむごたらしいものなのかを知り、どんなことがあっても、戦争という選択肢を選ばない、賢い国際人に成長して行ってほしいと願っています。



【児童の感想より】

<1年生>

げんしばくだんをおとされて、かわいそうでした。さだこさんが、びょうきにかかってかわいそうでした。1つだけばくだんをおとただけなのに、ほとんどしんでかわいそうでした。さだこさんの、じぶんのねがいがかなわなくてかわいそうでした。

<1年生>

さだこさんがしんでしまって、さだこさんのおとうさんやおかあさんやおともだちがかなしんでいて、わたしもとてもかなしくなりました。

(次面へつづく)

<2年生>

あつい中、ろうどくげきをしてくださり、ありがとうございました。わたしは、さだ子さんがいにも大ぜいのかたがなくなってしまったので、ずっとへいわでいてほしいとおもいました。

わたしも、せんばづるをとどけてみたいです。わたしは、げんぱくドームに行ったことがあってしていたこともあったけど、しらないこともしれたのでよかったです。げんしばくだんは、こわいとおもいました。

<2年生>

あつい中ろうどくげきをしてくださってありがとうございました。ろうどくげきを見て、とてもじょうずでした。わたしは、さだ子さんのちちとははが「やさしいな」とかんじました。そして、せんそうがどれだけこわいかがわかりました。さだ子さんは、しんでもてんごくへ行って、しあわせにくらしてもらいたいな、とおもいました。もうせんそうはしたくないな、とおもいました。

<3年生>

今日は、平和集会で、せんそうのろうどくげきをしてくださってありがとうございました。ぼくは、あのげきでげんしりょくばくだんは、落とされた時も、落とされた後も、ぎせいができることがわかりました。ぼくは、げんしりょくばくだんが落ちたとき、どんな事がおきたのか知りたいので、広島平和公園に行き、その時の話を聞いたりしたいです。

<4年生>

今日の平和集会で戦争のろうどくげきをお話どんだんにやってもらって、戦争がどんなにおそろしいか、どんなに悲しいかがよくわかりました。お話どんだんみなさんのげきがとてもわかりやすかったので、戦争でなくなった人たちの気持ちが伝わってきました。これからは戦争はしたくないです。わけは、げきで出てきたさだ子さんのように、戦争では、たくさん人の命がなくなるからです。戦争は、ぜったいしたくないです。

<5年生>

74年前の今日、8月6日に広島に原子ばくだんが落とされました。このばくだんで、たくさんの人々が苦しみながら死んでしまいました。今日の集会では、その日の出来事がどれほどざんこくで、おそろしく、悲しいものなのかを確かめ合い、亡くなった方のことを思い、2度と戦争なんかやらないことを約束しました。これからの世界を造る私達は、決してあの日の出来事を忘れてはいけません。亡くなった人達やさだ子さんのようなかわいそうな子ども達、そして平和のために、**次の世代へ平和を受けついでいこうと思います。**

<6年生>

今日、平和集会で朗読劇を見て、戦争から生まれるのは、悲しみやにくしみ、いかりなどの感情しかないというのが、よくわかりました。やはり、戦争は世界にあってはならないのだと改めて身にしみてわかりました。これからこの世の中を生きていくぼくたちも、またおそろしい戦争で人が命を落としてしまうことがないようにしたいです。

<6年生>

私は今日の朗読劇を見て、改めて戦争のこわさを感じました。74年前の今日、広島に原ばくが投下され、たくさん人が亡くなり、さだ子さんのように被爆し、現在も苦しんでいる人がいることがわかりました。生き物の命も幸せな日常も、戦争のせいであらゆるものが壊れてしまうことは、とてもにくくて辛いことだと思いました。**どんなことがあっても戦争はしてはいけないと、伝え続けることが大切だと思います。**

Ⓟ 子どもたちの感性って鋭いなあ、すてきななあ、と改めて感じました。それぞれの学年なりに、平和集会で感じたことや考えたことがつづられています。5、6年生になると、林さん、森くん、菅内さんのように、これからの社会を生きていく私たちの使命について、自分のこととして主体的に考えている感想もあり、本当にすごいなあと思います。2学期も、こうした行事や様々な学習を通して、子どもたちの豊かな感性を育てていきたいと思っています。